

2019年度 一般入学試験（後期日程） 産業情報学部 企業システム学科 出題の意図

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
34	9

2. 企業システム学科 アドミッション・ポリシー

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指し、「マーケティング」「経営」「会計」の3分野を柱に専門的、体系的に学んでいきます。よって、本学科では以下のような志願者を求めます。

1. 基礎的な教養を身につけ、自分自身のスキルや能力を鍛える意志を持っている人物。
2. 企業システム学科で学びたい事を自覚し、表現できる人物。
3. 大学卒業後のビジョンを抱き、地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物。

さらに、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をAO型入学試験によって受け入れ、その資質を开花させるために必要な教育を通して将来のビジネス社会で活躍できる人材育成を行います。

AO型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

- ①他者に誇れる活動や実績等を有している人物。
- ②企業システム学科で学びたい事を明確にアピールできる人物。
- ③大学卒業後のビジョンを抱き、自己研鑽ができる人物。

3. 出題の意図

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指している。この小論文の出題の意図は、そうした人材の育成を目指す本学科での学修にあたり、必要な能力を、受験生がどの程度持っているかをみることにある。本学科のアドミッション・ポリシーで求められている志願者像は、①基礎的な教養を身につけ自分自身のスキルや能力を鍛える意志を持っている人物、②企業システム学科で学びたい事を自覚し表現できる人物、③大学卒業後のビジョンを抱き地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物である。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

この小論文では、まず、基礎的な教養がどの程度あるかをみている。ここでいう教養とは、国語の学力に加え、社会一般に対する普段からの関心の広さと深さを表す。次に、論点を整理して、論理的に表現できているかをみている。最後に、社会の問題を他人事としてではなく自分のこととして主体的にとらえ、解決しようとする意欲が伺えるかをみている。